



2015・12・21

第 225 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

2000 万人統一署名成功へ草の根の力発揮を

野党は選挙協力を の声広がる

【岡山県岡山市／岡山市 9 条の会連絡会】 岡山市 9 条の会連絡会は 11 月 28 日、岡山市で「オールジャパン」実現のためのシンポジウムを開きました。民主党、維新の党、共産党、社民党など野党 5 党、おかやま宗教者 9 条の会、岡山弁護士会の各代表がパネリストとして出席し、会場いっぱいの 150 人が参加しました。

政党代表からは、「野党は、憲法 9 条の理想を共有してともに頑張る」（津村啓介・民主党衆院議員）、「2000 万人署名を通じて市民と対話し、政治を変える働きかけをしたい」（植本かんじ・共産党岡山県書記長）などの発言がありました。地域の 9 条の会の参加者からは 2000 万人署名に取り組む決意が述べられました。

なお、岡山県内の野党共闘を応援するおかやま宗教者 9 条の会が市民によびかけて 10 月に、「おかやまいっぽん」が結成されており、同会は 12 月 2 日夕、来年の参院選で野党が選挙協力するよう求めて岡山駅前署名活動に取り組みました。

【山形県／山形県九条の会連絡会】 山形県九条の会連絡会の全県代表者会が 11 月

28 日、山形市内で開かれました。

外塚功弁護士が、立憲主義、民主主義破壊の安倍政権を許さず、子や孫に 9 条を残すため頑張ろうと講演しました。

「九条守れ」などのノボリ旗を持った宣伝・署名活動や、戦争法反対の一点で党派を超えた市民集会の取り組みなど、13 の会の草の根の活動が報告されました。

白鷹九条の会から、戦争法反対の一点共闘として開かれた西置賜（1 市 3 町）集会や東置賜（2 市 2 町）集会では、国政選挙で「野党はまとまれ」という意見が出され、「戦争やんだおきたまの会」がつくられたことが報告されました。

戦争法廃止の署名を九条の会として 5 万集めることが確認されました。

2000 万人統一署名成功へ全力で

【滋賀県／滋賀・九条の会】 滋賀・九条の会は 11 月 28 日、戦争法廃止 2000 万人統一署名のスタートとなる学習・交流集会を草津市で開きました。

集会では、1 人 10 人の署名、滋賀・九条の会として 3000 人分をめざすことや、毎月 19 日に街頭宣伝に取り組むことなどが提起

されました。近藤学事務局長は、街頭で高校生や中学生から署名を集めた時の経験を語り、パネルや音楽、着ぐるみなども使い、創意ある取り組みを呼びかけました。

関西勤労者教育協会の中田進副会長が「日米ガイドラインと戦争法制」と題して講演しました。

地域九条の会からは、戦争法の廃止をめざして宣伝に力を入れていることなどが報告されました。

街頭の訴えにも対話はすむ

【熊本県／くまもと九条の会】 くまもと九条の会は12月3日、熊本市下通で、戦争法廃止を訴える全国統一の宣伝行動に呼応し、「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げ、2000万人統一署名を訴えました。50人が参加。

署名に応じた女性（73）は、戦争法について、「外国にまで行って戦闘に加わることになるというので心配。廃止にしたほうがよいと思います。署名に託す平和を守る願いがかなうといいですね」と話しました。

【岐阜県／岐阜・九条の会】 毎月「9の日」の街頭宣伝を始めて3年になる岐阜・九条の会。118回目となる11月29日には、名鉄岐阜駅前に11人が参加。30歳代から70歳代の6人が次々とハンドマイクで訴えました。

初めて参加した吉田隆さんはメモを片手に「安倍内閣が国民多数の声を無視して強引に可決した安全保障関連法は、日本を危険な戦争に導く戦争法であり、私は反対します」と力強く訴えました。関市在住のシンガー・ソングライターの宮島信男さんは、

自作の「9条をつなぐ」をスピーチの合間にギター片手に高らかに歌い上げました。

参加者は「いろいろな人がおり、いろんな考えがある。でも一番大切なものは、いのち」と大きな声で歌いました。

信号待ちの通行人も振り向いて耳を傾け、戦争法の廃止を求める2000万統一署名にも応えていました。

【秋田県／あきた九条の会】 あきた九条の会は12月3日、JR秋田駅前仲小路アーケードで、冷たい雨が吹き付けるなか、「憲法違反の戦争法を、国民みんなの力で廃止しよう」と訴え、2000万人統一署名への協力を呼びかけました。

ビラを受け取った高校生らは「来年から18歳選挙権が始まるから、もっと勉強します」と話し、60代の女性は「戦争に子どもや孫は絶対送りたくない」と署名。午後1時には参加者全員で「アベ政治を許さない！」とコールし、ポスターなどを掲げアピールしました。

他の団体とも共同を強めながら

【宮城県／みやぎ憲法九条の会など】 仙台市で、戦争法の廃止を求める昼休みデモが12月1日行われ、50人が「憲法違反の安保関連法は認めないぞ」「国民の力で廃止させよう」とアピールしました。

集会も開き、小林俊道県労連副議長があいさつで、国会前行動の最終盤にSEALDsのコールが、「戦争法反対」から「選挙に行こう」に変わったことを示し、「政治を変える運動に発展していることに確信を持ち、さらに運動を強めよう」と訴えました。

みやぎ憲法九条の会の板垣乙未生事務局

長は、県内で反対の声をあげた学者の会やママの会、SEALDs などさまざまな運動を結集する「安保法制廃止みやぎネット」を、1月に立ち上げる準備を進めていることを報告しました。

【北海道苫小牧市／苫小牧九条の会など】

苫小牧九条の会や労働組合、市民団体が参加する「戦争法廃止！苫小牧実行委員会」は11月29日、市内で安保法制（戦争法）廃止を求める苫小牧集会を開き、75人が参加しました。実行委員会からは1人で50人分の2000万人統一署名を集めることに挑戦するピースチャレンジャーの募集、地域での署名活動の活発化などが呼びかけられました。

参加者からは「高校生との対話で、戦争イヤだの声が寄せられている」などの報告がありました。

ママの会などとも交流しながら

【北海道札幌市北区／あいの里9条の会】

あいの里9条の会は11月26日、戦争法廃止に向けた学習交流会を開きました。川上麻里江弁護士は戦争法廃止への運動をどう進めるかについて報告。ゲストスピーカーのママの会のメンバーと大学院で勉強中の青年が廃止に向けての思いを語りました。

ママの会の母親は「これだけ頑張っても戦争法は通ったことにはがっかりはした。やはり選挙で戦争法に手を貸した政治家を落とすほかない」と話すと会場からは大きな拍手が起こりました。

大学院生の青年は、「頭で平和は大事だと分かってても、バイトなど生活の問題をかかえて疲れてしまうが、平和や憲法の問題を

考えていきたい」と語りました。

最後にアピール「私たちはあきらめない一戦争法（安保法制）の廃止を強く求めます」を参加者全員の拍手で確認しました。

【和歌山県みなべ町／みなべ九条の会】

「みなべ九条の会」は11月29日、声楽家で「9条ママ net キュット」代表の前田佳世さんを招き、結成10周年記念「平和を願う町民のつどい」を開きました。

小谷芳正みなべ町長は来賓あいさつで「解釈の違いで憲法が変わることはあってはならぬ。戦後70年目、平和の大切さを再認識する年ではないか」と述べました。

前田さんは、美しいソプラノで会場を魅了。「ずっと音楽一筋できました。でも長男が生まれ、その翌年に秘密保護法が成立。怖い時代がくると感じました。自分を変えざるを得なかった」と述べ、ママ友や同級生によびかけ去年結成した「9条ママ net キュット」の活動をふり返りました。

学習し、決意を固めあいながら

【石川県金沢市／小立野・犀川ロード九条の会】

小立野・犀川ロード九条の会は11月29日、北九州ホームレス支援機構理事長の奥田知志・東八幡キリスト教会牧師の講演会を金沢市で開き、60人が参加しました。その後、総会を開催しました。

奥田氏は、「戦争法でだれが戦争に行くのか」と問いかけ、「日本経済の仕組みが大きく崩れ、格差拡大で生活困窮者や社会的孤立者が増えている」と指摘。

「『生活に困り社会的に孤立している若者』に、自衛隊が『生活を保障する。日

本のために頑張れる名誉ある仕事』と優しく声をかけたらどうなるか。若者が戦場に駆りだされることになる」と語りかけ、参加者は聞き入りました。

金沢市の元教師男性（61）は「深刻な日本の貧困の実態、社会的孤立の話聞いてぞっとした。改めて戦争法を廃止しないとダメだと思った」と語りました。

総会は、川本浩平事務局長から戦争法廃止を求める署名の推進や毎月9日・19日に「出勤時サイレント宣伝」を取り組むなどの提起があり、確認されました。

【高知県幡多地域／幡多9条の会連絡会】 幡多9条の会連絡会は11月29日、四万十市で、琉球新報東京支社の島洋子報道部長を招いた講演会を開き、会場いっぱい110人が参加しました。

とさしみず九条の会の広田浩三さんが「憲法9条と基地の問題を連携させ、たかっぺいこう」とあいさつしました。

島氏は辺野古への米軍新基地建設反対の一点で結ばれた「オール沖縄」にふれ、「安保法制を強行した安倍政権に対抗できるのは、野党連携しかない」と訴えました。沖縄に住んでいた女性（37）は、「自分の地域でも連帯していきたい」と話しました。

出発時200人の賛同者が1000人に

【岐阜県岐阜市／長森・日野九条の会】

岐阜市の長森・日野九条の会が11月28日、10周年記念の平和のつどいを市内で行い、30人が参加しました。

世話人の村瀬文子さんは、「200人の賛同者で出発し、現在1000人に広がり、戦争の

悲惨さを毎年語り継ぎ、今年の戦争法反対の大きな運動につながった。たたかいはこれからが正念場」と開会あいさつしました。

地域在住で発足時にも講演に携わった安藤友人弁護士は、「安保法の危険な真実」と題して講演しました。

参加者によるフリートークでは、安倍政権の無法な言動に怒りが集中。「当初、戦争法は自分には関係ないと考えもしなかった」という男性は、「世間が騒ぐので勉強するようになり、行事に参加することで戦争法の危険性に気がついた」と述べ、短期間に変身した様子を語りました。

「安倍政権の危険性がよくわかり、参加して本当によかった。頑張る勇気がでてきた」などの感想が語られました。

九条の会結成の便り

【大阪府高槻市／高槻・教育9条の会】

戦争法案反対、戦争法の早期廃止の運動の盛り上がりの中で、9月28日、高槻・教育9条の会を結成しました。

高槻には、地域九条の会が活動していますが、「教え子を再び戦場に送らない」とともに、戦争する人づくりの問題を考える時、教育分野での会を作ろうということで退職教職員を中心に結成しました。個人会員制でいろんな考えや立場の人に参加してもらっています。現在賛同者(会員)は60名で、そのうち12名が現職の先生です。

1月1日付「九条の会ニュース」は休刊とさせていただきます。(編集部)
